

坂東地域アグリセミナー 農作業機械安全使用講座を開催

12月18日に「令和2年度坂東地域アグリセミナー 農作業機械安全使用講座」を開催し、県西地域の新規就農者・若手農業者8名が受講しました。

まず、農研機構 農業技術革新工学研究センターの志藤氏より、「農業機械の適正使用について」をテーマに、農作業事故の事例や安全対策について講演がありました。講演の中で、「農作業事故は最大の経営リスクの一つ」、「労働安全の最も基本となることは整理整頓」、「安全は収益向上に繋がる」等、労働安全を守っていくことは作業の効率化や生産性向上にも繋がることを学ぶことができました。

次に、坂東普及センターより、「トラクターの扱い方について」をテーマに、トラクター実機を用いてエンジンオイルやファンベルト等、セルフメンテナンスのポイントについて説明しました。

2つの講義を通して受講生からは「事故やケガがあってからでは遅いということがより身近に感じられた」、「自身が使っている農作業機械の扱い方を、今一度再確認したい」等の声がありました。

普及センターでは、今後も栽培技術や先進事例、経営管理等のセミナーを開催し、新規就農者の支援に努めていきます。



講義の様子①



講義の様子②

令和3年1月6日 坂東地域農業改良普及センター 札 周平（担い手）